



平成 24 年 4 月 11 日

各 位

本店所在地 京都市下京区烏丸通五条下る大阪町382-1  
 会社名 株式会社 京 進  
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 白川 寛 治  
 (コード番号 4735 大証2部)  
 連絡者役職氏名 取締役企画本部長 福澤 一 彦  
 電 話 (075) 365-1500

## 平成 24 年 2 月期通期業績予想・配当予想の修正および特別損失等の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 23 年 4 月 13 日に公表いたしました平成 24 年 2 月期（平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日）の通期業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、特別損失等の計上を見込んでおりますので、お知らせいたします。

記

### 1. 業績予想の修正

(1) 平成 24 年 2 月期連結業績予想数値の修正（平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,170	255	203	70	8.34
今回修正予想 (B)	9,999	372	324	△96	△11.51
増減額 (B-A)	△170	117	121	△166	△19.85
増減率 (%)	△1.7	45.9	59.9	—	—
(ご参考) 前期実績 (C) (平成 23 年 2 月期)	9,992	285	172	4	0.53

(2) 平成 24 年 2 月期個別業績予想数値の修正（平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,985	263	211	86	10.25
今回修正予想 (B)	9,871	451	407	△8	△1.05
増減額 (B-A)	△113	188	196	△94	△11.30
増減率 (%)	△1.1	71.8	93.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (C) (平成 23 年 2 月期)	9,886	267	154	△12	△1.43

### (3) 修正の理由

連結業績におきまして、期首（春）の集客は堅調に進んだものの、夏以降において停滞したことが影響し、売上高は前回（平成 23 年 4 月 13 日）公表の予想を多少下回る予定ですが、各現場における工夫や改善の積み重ね、管理部門を中心に余剰を極力抑えた人員の再配置が費用を抑制したこと、前連結会計年度までに実施した校舎統廃合等が利益改善に寄与し、営業利益、経常利益ともに前回公表の予想を大きく上回る予定としております。しかしながら、当連結会計年度末において、税制改正による繰延税金資産の取り崩し 114 百万円の計上、校舎建物等における減損損失の計上を新たに予定したこと等が影響し、当期純利益については、予想を下回る損失計上を予定しております。以上により、通期の業績予想を修正することといたしました。

なお、個別業績予想の修正理由につきましても、上記と同様であります。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 平成 24 年 2 月期配当予想数値の修正

	1 株当たり配当金				
	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	期末	合計
前回発表予想 (平成 23 年 4 月 13 日)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 3.00
今回修正予想	—	—	—	3.80	3.80
当期実績	—	0.00	—		
前期 (平成 23 年 2 月期) 実績	—	0.00	—	0.00	0.00

### (2) 配当予想修正の理由

当社は株主の皆様への利益還元を増大させることを重要政策として位置づけており、事業の拡大と財務体質の強化を勘案したうえで、配当水準の向上に努力してまいりました。毎年の配当につきましては、配当性向として個別業績における当期純利益の 30% を目標として金額決定することを方針としております。

上記の通り、個別業績におきまして、営業利益、経常利益ともに予想を大きく上回る予定としております。しかしながら、当期末において、当初の予想に盛り込んでいない税制改正の影響を受け、当期純損失 8 百万円の計上を見込んでおります。当期の期末配当につきましては、税制改正の影響を特殊要因と捉え、影響額である 114 百万円を当期純損失に加算した額をもとに目標である配当性向 30% を適用し、1 株当たり 3.8 円とする予定としております（平成 24 年 5 月 24 日開催の第 31 期定時株主総会に付議させていただき予定としております）。

※ 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

### 3. 特別損失等の計上

#### (1) 特別損失等の内容

##### ① 税制改正による影響

平成 23 年 12 月公布の税制改正の影響により繰延税金資産の取り崩しを予定しております。

##### ② 校舎建物等の減損損失

校舎における収益性の低下、及び校舎・事業拠点の移転・移設等に伴い、建物等について減損損失の計上を予定しております。

#### (2) 業績に与える影響

平成 24 年 2 月期通期において、繰延税金資産の取り崩し 114 百万円を法人税等調整額、及び減損損失 58 百万円を特別損失として計上する予定であります。また、上記の修正予想には、本件による影響を含めております。

以上